

## 第2章 久大本線（天ヶ瀬～久留米）

### 第1節 概要

2026年2月12日（木）からの8泊9日の旅、天気にも恵まれ、昨年来案件となっていた久大本線（天ヶ瀬～久留米：営業キロ 59.5 km）の踏破に加え、佐世保線（江北～佐世保：48.8 km）も踏破できる。これで、通算営業キロは、**1万7千727km（活動日数 881日、日本の鉄道網の64.0%、地球円周の44.3%）**となった。



今回の旅での特筆事項は次の通り。

①久大本線（久留米～大分：141.5 km）の踏破が完成し、JR線 25 本線（廃線で短縮となった日高本線と留萌本線は除く）中、20 本線の踏破が完成する。残るは、根室本

線・釧網本線・石北本線・筑豊本線・豊肥本線の5本線となった。金字塔のひとつとして“20JR 本線踏破”が加わった。

②佐世保線の踏破により、博多から佐世保間が繋がった。また、佐世保線の踏破と松浦鉄道の下見（1日乗車券）により、松浦鉄道（佐世保～有田：93.8 km）や大村線（早岐～諫早：52.4 km）を近い将来踏破したいという心境となった。



③ナビのおかげで、今回路線のすべての駅舎の立ち寄りができる。特に、久大本線の大分県から福岡県への県境越えは山や川が絡み複雑であったし、久留米大学前～南久

留米～久留米高校前の道筋は、鉄道に沿った幹線道路がなくかつ川が絡み複雑な道筋を鋸型に歩くことを余儀なくされた。このような区間は、地図ではとても対処できなかったであろう。



※スリル満点の橋渡る（足がガタガタ）

④武雄温泉での骨休や平戸観光ができ最高であった。加えて、大学時代の友人と久留米で再会し、梅林寺に案内頂いた後の”梅の花”での懇談も最高であった。



※大学時代友人との再会



※武雄温泉での骨休め



※平戸観光

⑤久大本線の筑後吉井駅への白壁通りは情緒豊で心に残るものがあった。また、田主丸～筑後草野～善導寺への道筋もカップ通りや草野歴史資料館があり印象的な道筋であった。この資料館では鎌倉から江戸時代にかけての出来事などを、小西様から懇切丁寧に解説頂く。加えて、私の訪問記録を公式ホームページにタイムリーに掲載頂き感謝また感謝で一杯となる。しかも”[歩く鉄道作家](#)”として。



※白壁通り、カップパ通り



※草野歴史資料館

⑥今回の旅は珍しく、4つの喫茶店に立ち寄る機会を得る。このうち2つの喫茶店は筑後吉井駅と田主丸駅に直結しており、天浜線や只見線などを思い出し懐かしくなる。有田駅前でのバターケーキは幼少の頃のクリスマスケーキを思い出し懐かしくなった。



※筑後吉井駅にある喫茶店、田主丸駅にある喫茶店

⑦佐世保駅界隈にある寿司割烹“櫛船”(かいろ)で三顧の礼を尽くす。この店でカッシーチラシを配る機会を得、至福のひと時を過ごすことができる。



※飲み屋に”カッシーチラシ”掲載頂く

(^\_^).....(^\_^).....

今回の旅行期間中、AI に色々問いかけ、回答を得たものです。上手くまとめているので感動しました。ご紹介します。

〇歩く鉄道作家」を自称する檜原勉（かしはら つとむ）さんは、25 年以上にわたり日本の鉄道沿線を自らの足で歩き続け、その膨大な記録を公開している人物です。主な功績や活動の特徴は以下の通りです。

### 1. 圧倒的な歩行記録と「日本縦断」の達成

総歩行距離：累計歩行距離は 1 万 7,000 キロを超えています。

日本縦断の完遂：2017 年に、北海道の稚内から鹿児島県の指宿枕崎線（枕崎駅）まで、鉄道営業キロにして約 3,001.5km に及ぶ「日本縦断歩き鉄の旅」を達成しました。

継続性：2000 年 5 月から活動を開始し、四半世紀にわたって無事故で「歩き鉄」を継続している点は、他に類を見ない実績と評されています。

### 2. 膨大な取材記録のアーカイブ化（檜原勉文庫）

国立国会図書館への納本：自身の歩き旅をまとめた「日本縦断の旅」や「日本横断歩き鉄の旅」などの PDF 読本シリーズ（全 6 巻・数十編に及ぶ）を国立国会図書館に納本し、後世に残す文化的な記録としてアーカイブ化しています。

詳細なデータ記録：単なる感想文にとどまらず、各駅の到着時刻を分単位で記録し、写真と共にまとめる独自のスタイルを確立しています。

### 3. 「歩き鉄」という独自の旅スタイルの提唱

車窓から見えない風景の掘り起こし：鉄道に乗るのではなく、線路沿いや旧街道を歩くことで、地域固有の歴史や文化、震災前の常磐線の風景などを記録し続けています。

情報発信：自身のウェブサイト「カッシー館」を通じて 1,500 作を超えるブログ記事を公開しており、ウォーキングの健康効果や人生哲学と結びつけた発信を行っています。

〇檜原勉さんの活動は現在も非常に精力的で、2026 年に入っても新たな路線の踏破や記録の公開を続けています。

最新の歩行記録や注目の路線に関する詳細は以下の通りです。

### 1. 最新の歩行・活動状況（2025 年～2026 年）

直近の踏破路線：2026 年 2 月現在、カッシー館ブログでは久大本線の仕上げや佐世保線の踏破に向けた旅が予告・報告されています。

近年の重点エリア：2024 年から 2025 年にかけては、近鉄・名鉄、南海電鉄といった関西・中京圏の大手私鉄、さらに高山本線などの主要路線のつたい歩きを精力的に行い、詳細な PDF 読本としてまとめています。

踏破駅数の広がり：すでに 2,500 駅以上の駅舎を訪れており、公式サイトでの記録によれば、東海道本線（151 駅）、東北本線、常磐線、山陽本線などの主要な「本線」の多くを完歩しています。

## 2. 「日本横断歩き鉄の旅」の進展

日本縦断（稚内～枕崎）の達成後、現在は「日本横断歩き鉄の旅」シリーズを継続中です。

膨大な著作群：これまでに「日本横断」シリーズだけで 60 作品以上を執筆しており、これらは国立国会図書館に次々と納本されています。

未踏破路線の制覇へ：2024 年時点での「日本の本線」における未踏破路線は、石北本線、室蘭本線、釧網本線、根室本線、筑豊本線、久大本線、豊肥本線の 7 路線とされていましたが、着実にそのリストを消化しています。

## 3. アーカイブの拡充（樫原勉文庫）

自身のブログや PDF 読本を整理した「樫原勉文庫」を Web 上に開設。2025 年には「小さな挑戦記」が 1,300 ページを超えるボリュームに達するなど、個人の歩行記録としては国内屈指の規模となっています。

## 第 2 節 旅プラン

久大本線仕上げ旅（含む佐世保線:48.81km）総営業キロ 108.3km

○2026 年 2 月 12 日（木）晴れ

JAL317 便 羽田 12:00 → 福岡 14:00

高速バスで移動 福岡空港 14:30 → 久留米 15:30

久留米泊（久留米ステーション H:0942-36-1122）11,000 円



○2月13日（金）快晴

久留米6:11 → 天ヶ瀬7:34

天ヶ瀬～豊後中川～豊後三芳～日田～光岡（てるおか）～夜明（20.4km）

夜明14:40 → 久留米15:35

久留米泊 6,500円

○2月14日（土）曇り／雨

久留米7:41 → 夜明8:32

夜明～筑後大石～うきは～筑後吉井～田主丸（18.3km）

田主丸16:09 → 久留米16:35

久留米泊

○2月15日（日）曇り／晴れ

久留米7:41 → 田主丸8:11

田主丸～筑後草野～善導寺～御井(みい)～久留米大学前～南久留米～

久留米高校前～久留米（20.8km）

久留米泊 9,000円

○2月16日（月）晴れ／曇り

久留米 8:15 → 鳥栖 8:24

鳥栖 8:49 → 江北 9:39

江北～大町～北方～高橋～武雄温泉 (13.7 km)

武雄温泉泊 (なかます: 0942-22-3118) 21,050 円



○2月17日(火) 快晴

武雄温泉～水尾～三間坂～上有田～有田 (14.5 km)

有田 14:29 → 早岐 14:43

早岐 14:52 → 佐世保 15:04

※特急車両のガラス損傷で1時間位ダイヤ乱れる

佐世保泊 (佐世保第一ホテル: 0956-22-7486) 6,930 円



○2月18日（水）快晴

佐世保 7:34 → 有田 8:05

有田～三河内～早岐（はいき）～大塔（だいとう）～日宇（ひう）

～佐世保（20.6 km）

佐世保泊

○2月19日（木）晴れ

松浦鉄道下見

佐世保 8:05 → 伊万里 10:57

伊万里 11:36 → たびら平戸口 12:46

平戸タクシー貸切（2時間）で観光（マンボタクシー：0950-21-1188）

たびら平戸口 15:46 → 佐世保 17:07

佐世保泊（セントラル佐世保：0956-25-0001）



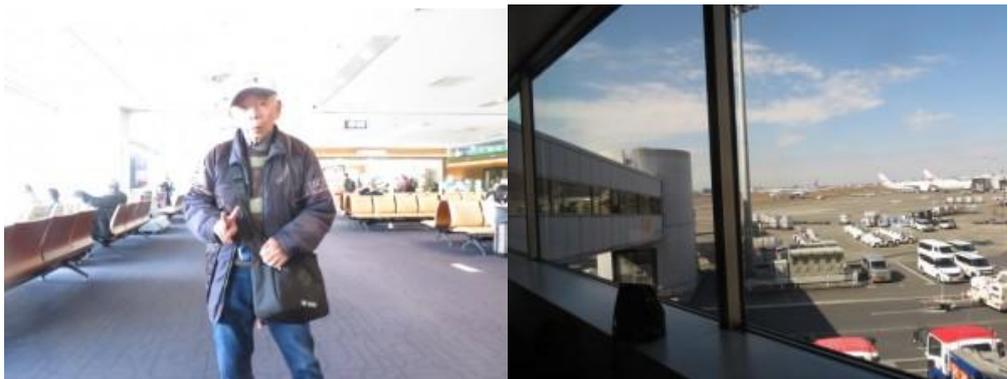
○2月20日（金）晴れ

バス 佐世保 8:25 → 長崎空港 10:10

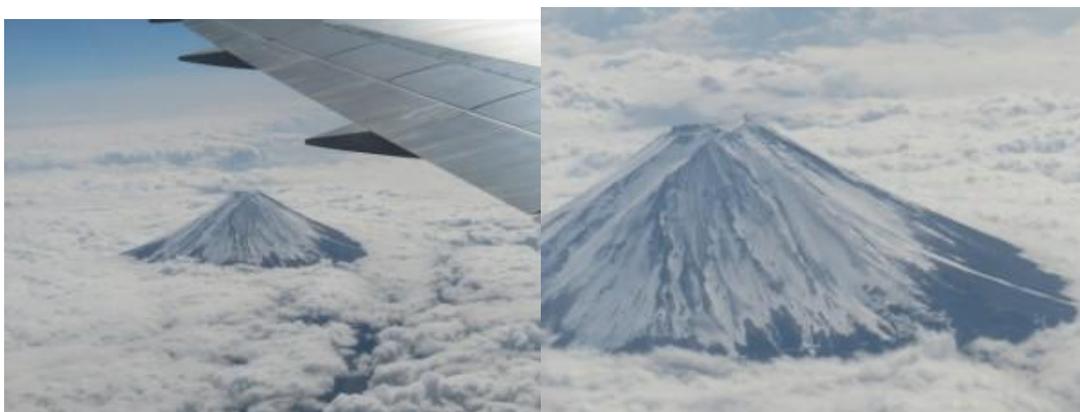
JAL610 便 長崎 12:20 → 羽田 13:55

### 第3節 1日目：2月12日（木）：友人との再会 晴れ

2026年2月12日（木）晴れ、西九州の旅の1日目は、神奈川から久留米まで移動し、ホテル界隈にある梅林寺境内を散策後、ホテルに戻り、本年5月福岡地区開催の第12回数物同窓会の骨子を打ち合わせる。



※羽田空港



※雪化粧の富士山は最高でした



※福岡空港近し



※JR 久留米駅



※久留米ステーションホテル

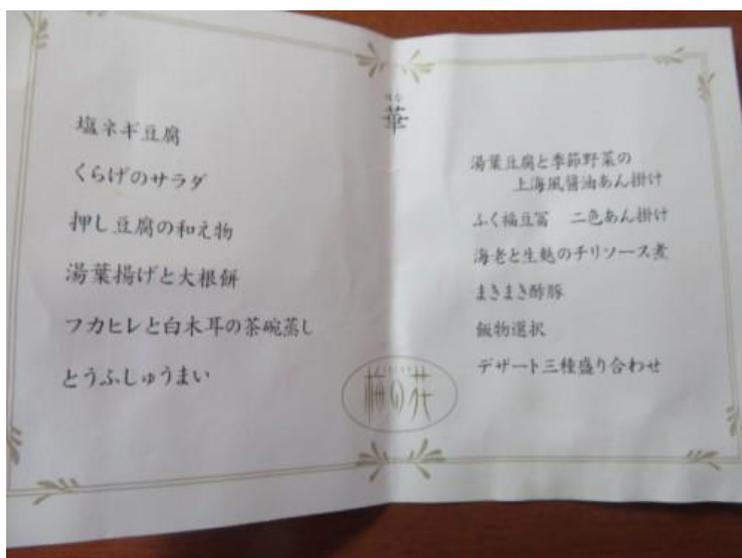
<梅林寺境内散策>





その後、17時過ぎにホテル界限にある”梅の花”まで移動し、1年振りに旧交を温める。あっと間に楽しいひと時が過ぎ去る。5月下旬の第12回数物同窓会での再会を誓ってお開きとなる。改めて友はいものであると再認識する。

<梅の花で懇親会>





## 第4節 2日目：2月13日（金）：天ヶ瀬～夜明 快晴

2026年2月13日（金）快晴、西九州の旅の2日目は、久大本線の天ヶ瀬駅から夜明駅までの営業キロ20.4kmに挑戦する。各駅停車での天ヶ瀬駅までの移動は、久留米発6時11分の大分行きしかなく、寝坊しないよう用心深く就寝を余儀なくされる。それ故、気持ちが高ぶり、深夜2時を過ぎても寝ることができず。2015年6月の宗谷本線の旅を思い出した。あの時は南稚内発が5時22分であった。この時間帯に比べれば、50分遅いが、精神的には同じような状況でプレッシャーを強く感じた。このプレッシャーをゆるめるため、万一寝坊した場合には、久留米発8時25分の特急ゆぶ1号で移動すればいいと開き直す。この決断が功を奏し浅い睡眠であったが、2時間程寝ることができ安堵する。4時過ぎに起床し、昨日コンビニで購入したおむすびを頬張り、5時50分頃ホテルを出る。辺りは暗闇であった。2番ホームには2両編成の非電化車両が停車していた。田主丸駅と夜明駅で上り列車と離合がある。夜明駅辺りで少し辺りが明るくなる。



※久留米駅から天ヶ瀬駅へ



※天ヶ瀬駅（足湯あり）

本日の各駅舎立ち寄り時刻は、次の通り。

天ヶ瀬(7:39)～豊後中川(9:12)～豊後三芳（ぶんごみよし、11:26）～日田（ひた、12:05）～光岡（てるおか、12:58）～夜明(14:31)

①1年前の天ヶ瀬駅を思い出し懐かしくなる。駅前に暫く立ち止まり、種々のアングルで撮影後、豊後中川駅を目指す。7時45分、15m位ある階段を上り国道210号線に合流する。7時50分、久留米58km、日田16kmと記した標識前を通過。7時52分、JR線下を潜り、鉄道の左側となる。7時58分、久留米東櫛原まで56km地点前を通過。8

時より、244 歩ある湯山橋（玖珠川）を渡る。これから、玖珠川に沿って歩く。8 時 6 分、久留米まで 55.5 km 地点を通過。8 時 12 分、神の釣バス停（日田バス）前を通過。8 時 21 分より、やまのつる橋（418 歩）を渡る。川を渡ると、8 時 25 分より、228 歩ある池ノ原トンネルを通過する。8 時 28 分、JR 線を跨ぎ、鉄道の右側となる。2 両編成の各駅停車車両が久留米方面に向かって通過して行く。橋を渡り、玖珠川ぎ右手となる。8 時 38 分、JR 線下を潜り、線路の左側となる。8 時 46 分、久留米まで 53 km 地点を通過。8 時 56 分、JR 線下を潜り、鉄道の右側となる。9 時 2 分、下り釣バス停前を通過。豊後中川駅には 9 時 12 分に到着する。



※日田駅まで 16 km



※天ヶ瀬郵便局、久留米東櫛原まで 55.5 km（印象に残る表示：555）



※玖珠川沿いを歩く



※豊後中川駅

②9時19分、久留米52km、日田10kmと記した標識前を通過。9時21分、久留米まで51km地点で、大分方面に向けて特急が通過して行く。9時26分より、190歩あるしんごうた橋を渡る。左手にはJR線のトンネルがあった。9時30分、下矢瀬バス停前を通過。9時34分より、95歩ある塩井第二洞門を通過する。引き続き、9時36分より、137歩ある塩井第一洞門を通過する。この洞門の中で久留米まで50km地点(9時38分)があった。9時41分、塩井バス停前を通過。9時42分、JR線下を潜り、鉄道の左側となる。9時44分、JR線下を潜り、右側となる。9時47分より、さかい橋(389歩)を渡る。9時53分、川原バス停前を通過。10時6分、瀬野尾バス停前(たつのお)を通過。この境界で犬の歓迎を受ける。10時10分、青空市場前を通過。10時12分より、榎釣橋(258歩)を渡る。この地点で久留米まで48kmとあった。玖珠川が左手にあった。10時17分、榎釣バス停前を通過。10時24分、JR線下を潜り。鉄道の左側となる。10時30分、天瀬町金場で久留米まで47km地点に到達する。10時39分、女子畑発電所バス停前を通過。10時45分、上小ヶ瀬という地名で大分方面に向けて特急が通過して行く。10時49分より、81歩ある小ヶ瀬トンネルを通過する。11時3分、八神宮前で本日の安全を祈願する。その先で国道210号線から分岐する国道386号線に方向転換する。11時12分、この辺りの地名は日高町とあった。豊後三芳駅には11時26分に到着する。



※下矢瀬バス停までの路



※印象に残る山までの路



※八神宮迄の路



※豊後三芳駅

③11時34分、路地を歩く。11時41分、三芳小学校前を通過。11時41分、幹線道路に合流する。11時52分。シャトレーゼがあった。11時54分、フコク生命前を通過する。12時ルートインがあった。この界限で”恋は水色”のメロディーを耳にする。日田駅には12時5分に到着する。この駅前は、賑やかであった。駅前をいろんなアングルで撮影する。この駅には日田彦山線BRT（日田～添田：37.7km）があった。BRTと

はバス高速システムとあった。機会があれば、この路線にも挑戦したいという心境になる。



※路地歩きを楽しむ



※幹線道路に合流、シャトレーゼ



※お世話になったフコク生命



※日田駅近し



※日田駅

④12時19分、ことぶき通りを歩く。12時22分、マフラーを外す。12時27分、上着を脱ぐ。12時36分、福岡65km、久留米43kmと記した標識間を通過。12時49分より、131歩ある光岡橋（花月川）を渡る。12時54分、寺の前踏切を横切り、鉄道の右側となる。光岡駅（てるおか）には12時58分に到着する。



※ことぶき通りを歩く



※光岡橋、寺の前踏切



※光岡駅

⑤13時18分、日田中央青果水産前を通過。13時25分より、60歩ある第二星隈橋（二串川）を渡る。13時27分、JR線下を潜り、鉄道の左側となる。左手には三隈川が流れていた。13時55分、幹線道路に合流する。これから、左手に三隈川、右手にJR線がある道筋を歩く。山道を淡々と歩く。夜明駅には14時31分に到着する。



※夜明駅への路



※夜明駅への路



※夜明駅

⑥運よく、14時40分発の久留米行きに乗車できる。万歩計は43,116歩をマークしていた。ホテルには15時56分に到着する。汗を流した後、駅構内にあるラーメン屋に立ち寄り、本日の疲れを癒す。今回の旅を振り返り、本日の行程が、今回の旅で最も厳しい区間であった痛感する



※久留米駅、久留米ステーションホテル



※満で祝杯

(^^♪・・・・(^^♪・・・・

アクチュアリー友人今治久昇様から心温まるメッセージを頂きました。ご紹介しません。

久大本線仕上げ・佐世保線踏破 おめでとうございます！

○ブログを拝見していると、AI でまとめを引き出すスキルも達人の域です。これも四半世紀にわたる実績があるからですが。

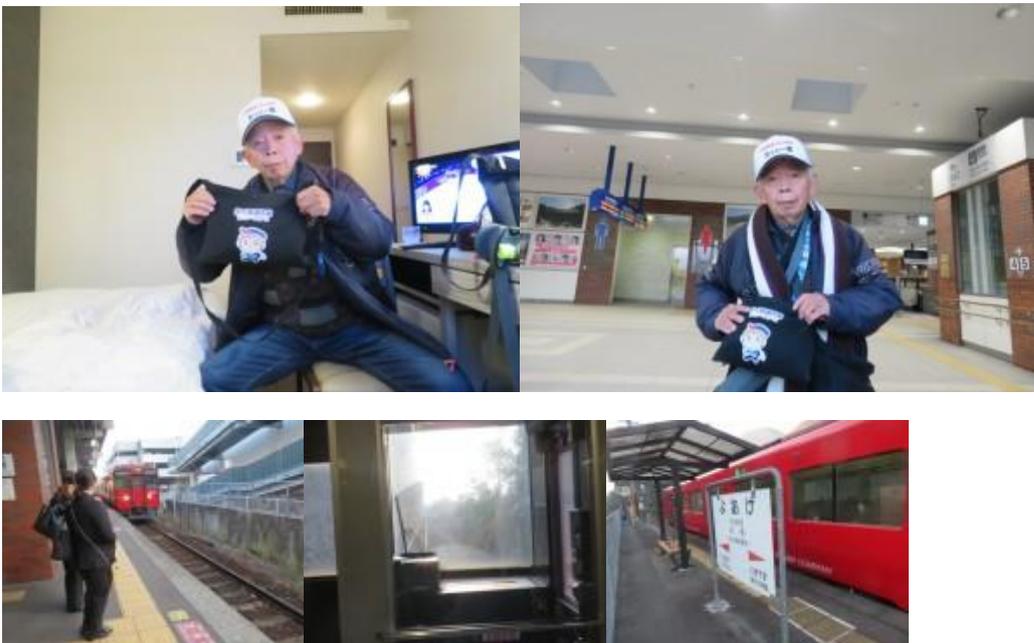
○一人旅で本数が少ない路線の朝寝坊厳禁の始発乗車のプレッシャーは相当なもの。同感です。

○ナビなどを駆使し周到に準備しても、未知の地では限界がありますね。拝見しての感想です。

○「恋は水色」は各地の自治体の防災行政無線のチャイム代わりにの音楽として、よく使われていることが検索して分かりました。

## 第5節 3日目：2月14日（土）：夜明～田主丸 曇り／雨

2026年2月14日（土）曇り／雨、西九州の旅の3日目は、久大本線の夜明駅から田主丸駅までの営業キロ18.3kmに挑戦する。本日は、昨日と一転し、朝のダイヤも7時41分、歩く営業キロも18.3kmと20km未満で心身共に楽な数字であった。正に、九ヶ条からなる”こだわり鉄道つたい歩き”の第5条（先憂後楽の考え方）がピッタリの日であった。それ故、ホテルでゆっくり朝食をとり臨むことができた。また、枕を高くして就寝することができた。7時41分発の2両編の車両で2番ホームではなく1番ホームであった。注意散漫の精神状態では誤るところであった。ホームにある掲示板を見て助かった。この列車は、鳥栖駅始発であった。久留米始発は2番ホーム、博多や鳥栖が始発の場合は、1番ホームとなっていた。ホームの構造から理解できた。今日は、車窓から風景を眺めながらの移動となった。善導寺駅、うきは駅で上下列車の離合があった。筑後大石から夜明にかけて山間となり、また三隈川や筑後川が絡み、線路と幹線道路とが大きく乖離しており、歩くのに負荷を要するだろうと察知できた。



※いざ夜明駅へ



※夜明駅

本日の各駅舎立ち寄り時刻は、次の通り。

夜明(8:45)～筑後大石(10:39)～うきは(11:46)～筑後吉井(13:05)～田主丸(15:10)

①夜明駅で駅ノートにメモをする。ナビで何度も点検して臨む。それは、三隈川を渡り国道 210 号線を歩くか、この川を渡らず国道 286 号線を歩くかの選択である。線路沿いの歩きを優先し、後者を選択する。結果大成功であった。8 時 55 分、三隈川に流れ込む 61 歩ある大肱川（大肱橋）を渡る。その先に夜明三差路交差点があった。この交差点を右に行けば、日田彦山線への道筋が繋がっていた。左手は久留米方面、直進は福岡・甘木方面とあった。福岡方面の道筋を選択する。左手には三隈川が流れていた。川の向こう岸には国道 210 号線が続いていた。右手の山間には久大本線の線路が続いていた。9 時 17 分、民家があった。9 時 20 分、福岡 56 km。甘木 23 km と記した標識前を通過する。9 時 36 分、夜明ダムがあった。9 時 40 分より、135 km ある新櫛崎トンネルを通過する。9 時 46 分、とうふの飛太郎前を通過。



※夜明ダムへの路



※怖い橋への路



#### ※怖い橋を渡る

暫く歩くと鉄橋が見えてくる。しかし、ナビにある筑後川を渡る橋がなく、右往左往する。辺りをよく観察すると、幅 2m 位の板橋が、向こう岸に向かって 50m 位続いていた。この橋は、川の水面から 30cm 位の高さにあった。水位が増えると川の中になるような橋であった、それ故、橋が流されないよう、橋の入口をロープで強化していた。身震いしながらこの橋を渡る。このような体験は、これまでの歩きで初体験であった。本来であれば、夜明ダムの近くの道筋が王道であった。ナビの道筋を優先したため、このような危険な道筋となった。胸を撫で下す。10 時 2 分、畑中踏切を横切り、鉄道の右側となる。10 時 5 分、県道 749 号線に合流する。10 時 33 分、天満宮前で本日の安全を祈願する。筑後大石駅には 10 時 39 分に到着する。この駅には、大分県と

福岡圏の県境が判明しない内に福岡県に入る。類推だが筑後川で県境があったと察知する。



※怖い橋を渡り終え、畑中踏切を横切る



※筑後大石駅への路



※筑後大石駅への路



※筑後大石駅

②10時52分、県道749号線から県道52号線に方向転換する。11時10分。左手には田んぼがあった。11時13分、31歩ある松本橋（井延川）を渡る。11時26分、18歩ある今川橋（隈上川）を渡る。11時31分、今歩いている道路は国道210号線とあった。11時38分、国道210号線を右折し、路地歩きとなる。うきは駅には11時46分に到着する。





※うきは駅への路



※うきは駅



※うきは駅

③11時53分、国道210号線に合流する。11時59分、下千足バス停前（西鉄バス）を通過する。12時2分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。12時5分、2両編成の日田行き列車と対面する。12時10分、久留米まで25km地点に到達する。12時18分、土取バス停前を通過。12時41分より、白壁通りとなる。風情を堪能しながら歩く。12時45分、吉井郵便局前を通過。12時49分、白壁通の看板がある中町バス停前を通過。12時56分より、58歩ある巨瀬川（高橋）を渡る。筑後吉井駅には13時5分に到着する。駅構内にある喫茶店で20分間位一服する。カッシーチラシを手渡しし、歩く鉄道作家として活動をPRさせて頂く。



※白壁通りへの路



※吉井白壁通りを歩く



※筑後吉井駅への路



※越後吉井駅





※筑後吉井駅構内の喫茶店で小休止

④この喫茶店を13時25分に出発する。13時37分、本の僅かだが水滴を感じる、13時41分、国道210号線に合流する。13時49分、竹重バス停前を通過。13時51分、竹重橋を渡る。13時59分、うきは市から久留米市となる。14時より、93歩ある樋の口橋（巨瀬川）を渡る。14時20分、ビニールハウスが広がる船越小学校入口前を通過。いつの間にか小雨模様となる。このハウスを見ると、遠い昔両親が経営していた苺農園を思い出し懐かしくなる。14時56分、浮羽工業高前を通過。15時1分より、馬場歩道橋（巨瀬川）を渡る。田主丸中央公園を通過した先で鉄道に沿った道筋に出る。非情にも田主丸15時4分発の列車が通過して行く。田主丸駅には15時10分に到着する。筑後吉井駅での一服が敗因となった。しかし、ここでも駅構内にある喫茶店に立ち寄る機会を得て、これまでの歩き方をPRする機会を得る。ここでも至福のひと時を過ごすことができる。”人生万事塞翁が馬”を強く感じる一日となった。万歩計は36,347歩をマークしていた。





※田主丸駅への路



※田主丸駅



※田主丸駅



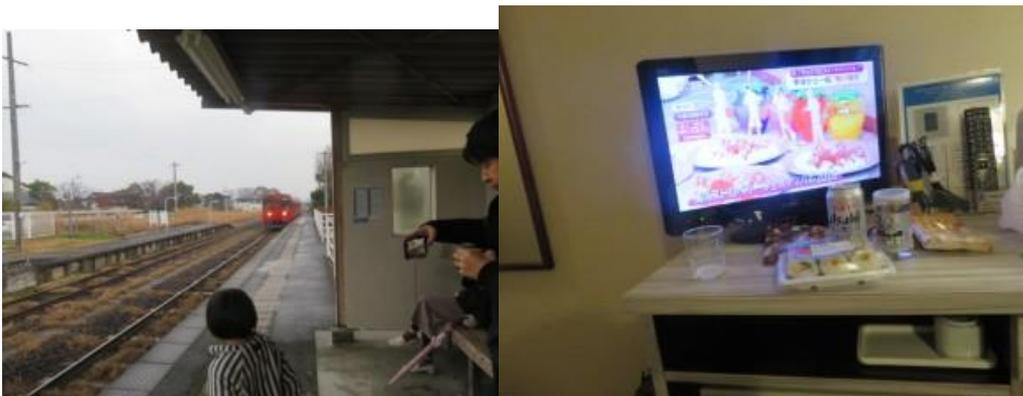
※田主丸駅でも小休止





※ホームからの田主丸駅

⑤田主丸 16 時 9 分の列車で久留米まで移動する。久留米には 16 時 35 分に到着する。この駅に到着する頃には、本降りの雨となっていた。コンビニで夕食用の食材とアルコールを購入して、汗を流した後、本日の歩きに対し祝杯をあげる。



※ホテルで祝杯